第１学年　算数科学習指導案（略案）

令和２年 12 月 23 日（水）
第３校時　１年教室

１　単元名「どちらが　ひろい」（全１時間）

２　目標

○面積の比較などの活動を通して、面積とその測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるものの面積について任意単位などにより比較する力を養う。

○面積についての感覚を豊かにし、身の回りにあるものの面積に関心をもち、直接比較やますの数で比べ、日常生活に活用しようとする態度を養う。

３　観点別評価規準

ア　知識・技能	イ　思考力・判断力・表現力等	ウ　主体的に学習に取り組む態度
面積についての基本的な意味や比較の方法を理解し、面積についての基本的な感覚を身に付け、直接比較や任意単位による測定によって、身の回りにあるものの面積を比べることができる。	身の回りのものの面積に着目して、直接比較や任意単位による面積の比べ方を考えたり、任意単位により面積を数値で表したりしている。	身の回りにあるものの面積に関心をもち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

４　指導計画　（全１時間扱い）

時	ねらい	○主な学習活動　◆研究との関わり【】めざす児童像 評価は？
１	○身の回りにあるものの面積に関心をもち、直接比較やますの数で比べることができる。	○レジャーシートなど、身の回りのものの面積を比べる。 ○面積の直接比較の方法を知り、実際に比較してみる。 ○敷き詰められたタイルの面積を、タイルの数で比べる。 ○長さやかさの学習を振り返り、任意単位で比較するよさを確認する。 ○陣取り遊びをして、面積をますの数で比べる。 ◆実生活とつながりがある教材の使用 【自ら活動に取り組むことができる児童】

5　本時の学習指導（全１時間中の第１時）

（1）　目　標

身の回りにあるものの面積に関心をもち、直接比較やますの数で比べることができる。

（2）展　開

	○主な学習活動　・予想される児童の反応	・指導　支援　＊資料　◇評価（観点・方法）
導入	**1　レジャーシートの面積の比べ方を考える。** **どちらがひろいでしょうか。くらべかたをかんがえましょう。**	**・長さやかさの学習を思い出させ、比べ方を考えさせる。**
展開	**2　レジャーシートの面積の比べ方を考える。** ○どのようにしたら比べられるかな。 ・重ね合わせたら、比べられる。 ・端をきちんと重ね合わせると比べられる。 ○長さやかさでの既習を想起させながら、解決の見通しをもたせる。 ○面積の直接比較の仕方を考えさせる。 **3　広さの直接比較の方法を知り、実際に比較する。** ○レジャーシートの広さを比べよう。どうやって考えたかも言おう。 ○レジャーシートを使って、実際に面積を比べる。 **4　適用問題に取り組む。** ○３つのもの（色紙、ノート、落書き帳）の広さを比べ、広い順に言う。 **5　２種類の紙を渡し、どちらが広いかを考える。** ○どのようにしたら比べられるだろう。 ・はみ出している方が広い。 ・ますの数で比べられる。 **6　陣取り遊びをする。** ○ルールを確認する。 ・ジャンケンで勝ったら、□を１つ塗る。 ・塗った□の数が多い方が勝ち。 ○２人組になって陣取り遊びをしよう。 ・ますのいくつ分かで、勝敗がわかる。	・長さやかさの直接比較の方法（端をそろえる、まっすぐ伸ばす等）を想起させる。 ◇面積に関心をもち、面積の比較の仕方を考えようとしている。（思考力、判断力、表現力等） 研究との関わり 実生活とつながりがある教材の使用 【自ら活動に取り組む】 ・グループで取り組ませる。 ◇面積を直接比較で比べることができる。 （知識及び技能） ◇面積を任意単位のいくつ分の大きさとしてとらえ、数で表現している。 （主体的に学習に取り組む態度） ・陣取り遊びのルールを確認させる。 ◇勝ち負けだけでなく、どちらがどれだけ広いかを確認させる。 （思考力、判断力、表現力等）
まとめ	**7　本時のまとめをする。**	・広さの比べ方についてまとめ、確認する。 ①　はしをきちんとあわせて、重ねて比べる。 ②　ますなどのいくつ分かで比べる。